

香美市児童生徒4名が冬の積丹へ

町内2小学校児童7名が香美市へ



～来年度に向けて～
初めての冬の積丹を体験！

1月6日から4日間の行程で、姉妹都市高知県香美市内の小学校児童1名と中学校生徒3名の4名（ときひさ教育長ほか2名引率）が冬の快晴に恵まれた中、来町しました。

この姉妹都市交流事業は、交流を通して両市町との親交を深めるとともに、文化や慣習の違いを体験し、広い視野と社会に適應する力を育成することを目的に行われました。香美市の子どもたちは当町の子どもたちと一緒に、野外スポーツ林スキー場でスキーや雪像づくり、雪合戦など、冬の北海道ならではの遊びを楽しみ、友情を更に深めました。

また今年の交流は、来年度からの本格的な冬の当町訪問に向けての課題と準備の参考とするため、今回は、一昨年と昨年の夏に訪れた4名の児童生徒が積丹の夏と冬の違いを体験するため、試行的に行われたものです。

その子どもたちからは、「スキーや雪合戦をして楽しかった」や「雪がたくさん積もっていてびっくりした」など初めて見るたくさんの雪に驚いていました。「また冬にきたい！」といった声も聞かれ、来年度の冬の交流に向け、実りある交流となりました。



雪合戦

～更なる交流発展に～
当町の小学校児童も香美市へ！

1月12日からの4日間は、美国小学校と日司小学校6年生の児童7名が高知県香美市を訪問しました。

児童たちは、香美市内で名産のフラフ（旗）作り体験や国の天然記念物に指定されている鍾乳洞の龍河洞、アンパンマンミュージアム、高知市内の高知城や桂浜などを見学したほか、香美市立楠目小学校を訪問し、積丹町の紹介を行ったり、給食を一緒に食べるなど楽しい時間を過ごしました。

さらに、香美市児童宅へのホームステイも行われ、互いに交流を深めました。

参加した児童からは、「香美市の方が寒かった」という感想が聞かれ、雪のある北海道よりも寒く感じたようでした。また、一番心に残ったのは、香美市の同世代の仲間たちとの交流だったようで、児童たちにとってかけがえのない思い出となりました。

今回行われた両市町の子どもたちによる相互交流。これからの未来を担う新しい世代の交流の発展を期待しましょう。



フラフ作り体験



スキー体験



楠目小児童との交流

まちの日記帳



新年の運だめし！

美国商店連盟ポイント会年始大抽選会

1/3

町内の7商店が加盟する美国商店連盟ポイント会（八戸尉勝会長）の新春恒例となっているイベント「年始大抽選会」が総合文化センターで開催され、帰省中の家族連れなどで賑わいました。

今回で12回目となるこのイベントには、多くの町民の方が、抽選券となる同会のポイント満点カードを握りしめ、現金つかみどりを引き当てるために新春の運だめしを行いました。

運よく当たりくじを引いた方、引くことが出来なかった方、みなさんにとって本年が明るい一年となりますように！



豊漁と安全操業を願って

東しゃこたん漁協大漁祈願祭

1/4

前浜の恵みに感謝し、豊漁と安全操業を願う大漁祈願祭が東しゃこたん漁業協同組合美国支所荷捌所で行われました。

式典には、漁協役員や部会の代表、仲買人組合の代表などが参列し、玉串を捧げた後、神哲治組合長と松井町長が挨拶し、最後は3本締めで、今年1年の豊漁と海の平穏、操業中の無事故を祈願しました。

昨年の秋イカ漁のように「漁業のまち積丹」の漁模様が太いに賑わうことを願っています。



▲大漁を願い玉串を捧げる神組合長

海難事故“ゼロ”へ決意新たに 積丹・美国救難所出初式

1/5

1/12

1月5日に道漁船海難・水難救済センター積丹救難所（佐藤一義所長・43名）、12日に同美国救難所（神哲治所長・35名）の出初式が行われ、両救難所で制服・制帽に身を包んだ多数の所員が列席しました。

漁業者の同所員の皆さんは、海難事故の一報が入ると漁船での救助活動を優先させる体制を整えており、当日は両所長の年頭の訓辞と松井町長の祝辞、基本動作の教育訓練が行われ、所員の皆さんは海難事故防止の決意を新たに、今年1年の安全操業を誓いました。

